

## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年7月12日

上場会社名 株式会社フューチャーリンクネットワーク 上場取引所 東  
コード番号 9241 URL <https://www.futurelink.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井文晴  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営統括部長(氏名) 中川拓哉 (TEL) 047-495-0525  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	1,200	12.2	△22	—	△23	—	18	—
2023年8月期第3四半期	1,069	—	△25	—	△26	—	△20	—

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 19百万円(—%) 2023年8月期第3四半期 △20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	21.62	20.91
2023年8月期第3四半期	△25.29	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2023年8月期第3四半期は1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	866	271	29.3
2023年8月期	746	243	30.3

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 253百万円 2023年8月期 226百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,493	7.9	△46	—	△46	—	0	—	0.00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年8月期3Q	838,822株	2023年8月期	832,250株
2024年8月期3Q	一株	2023年8月期	一株
2024年8月期3Q	834,658株	2023年8月期3Q	827,094株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安のプラス効果やインバウンド需要による好調な企業業績を背景に、日経平均株価は最高値を更新し、大手企業を中心とした賃上げの本格化など景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、不安定な世界情勢の長期化を受け、資源価格の高騰と行き過ぎた円安に伴う物価上昇等の影響など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが事業展開する広告業界におきましては、2023年の日本の総広告費は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴うリアルイベントの開催数増加や国内外の観光・旅行の活性化などにより回復がみられ、7兆3,167億円（前年比103.0%）と過去最高となりました。中でも社会のデジタル化を背景にインターネット広告費の市場規模は3兆3,330億円（前年比107.8%）と過去最高を更新し、引き続き広告市場拡大をけん引しております（出典：株式会社電通「2023年 日本の広告費」）。

また、ふるさと納税市場においては、2022年度のふるさと納税受入額は前年比16.3%増の9,654億円となり、受け入れ件数も前年比16.6%増の約5,184万件と過去最高となりました。ふるさと納税制度の認知は一般化し、今後さらなる市場規模の拡大が予想されております（出典：総務省自治税務局市町村税課「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和5年度実施）」）。

このような環境下、当社グループは地域情報プラットフォーム「まいぷれ」の運営を通じ、広告主である地域の中小事業者・店舗の情報発信・マーケティングに関する経営支援を推進し、また「まいぷれ」運営パートナーとの協働により全国各地の足回りを活かしたふるさと納税事業や地域ポイント事業の実行を通じて地方自治体の課題解決を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,200,066千円（前年同期比12.2%増）、営業損失は22,615千円（前年同四半期は営業損失25,210千円）、経常損失は23,047千円（前年同四半期は経常損失26,418千円）、また、補助金収入を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,046千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失20,920千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (地域情報流通事業)

地域情報流通事業におきましては、地域情報サイト「まいぷれ」を通じて発信した情報とGoogleビジネスプロフィールの連携を強化する機能の改修を進め、ローカルWebマーケティング支援にも注力してまいりました。

まいぷれ店舗広告は、広告掲載だけではなく、顧客満足度を高めるサポートを行い、「まるまるおまかせプラン」等の高単価・高付加価値のサービスを導入する取り組みにより平均単価が8,653円（前年同期比2,927円増）となりました。これにより、当第3四半期連結累計期間における直営地域のまいぷれ関連売上高は103,585千円（前年同期比29.5%増）となりました。

また、パートナー運営地域におきましては、当第3四半期連結累計期間に、「まいぷれ」の展開エリアは着実に増加し、932市区町村（前年同期比55市区町村増）となりましたが、店舗数増加よりも高単価・高付加価値サービスの販売にパートナーの営業指導を注力したことから、直営を含む全国のまいぷれプラットフォーム利用店舗数は17,788店舗（前年同期比364店舗減）となりました。

運営パートナーの新規開拓におきましては、営業組織体制と広告リード獲得からの商談数が安定化し、当第3四半期連結累計期間における新規契約件数は29件となりました。これにより、当第3四半期連結累計期間の既存・新規契約をあわせたパートナー関連売上高は348,846千円（前年同期比15.9%増）となりました。

また、地域情報プラットフォームで培った地域店舗・企業に対する広告・販促を扱うマーケティング支援におきましては、大手小売チェーンの広告需要を昨年同様規模で安定的に受注し、マーケティング支援売上高は159,206千円（前年同期比3.1%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は611,638千円（前年同期比12.1%増）となりました。またセグメント利益は168,775千円（前年同期比6.4%増）となりました。

(公共ソリューション事業)

ふるさと納税BPOでは、2023年10月よりふるさと納税制度のルール変更があった影響により、9月に駆け込み需要が発生し、その分年末の需要が減少するなど変動が大きい時期となりましたが、当第3四半期連結累計期間に当社グループが業務委託を受託する自治体の寄付額は57億円(前年同期比9億円増)となり、ふるさと納税関連売上高は433,228千円(前年同期比7.2%増)となりました。

公共ソリューション領域では、消防庁の新技术を活用した災害情報伝達手段の実証実験やデジタル田園都市国家構想交付金に関連する案件がスタートするなど、事業を推進して参りました。その結果、公共案件売上高は101,007千円(前年同期比6.4%増)となりました。

地域共通ポイントサービス「まいふれポイント」は、2024年3月に大阪府貝塚市で地域ポイントがスタートし、全国で12エリア、4自治体と運営をしております。ポイント事務局の運営や市民向けポイントの助成事業などを一部自治体と官民協働で事業推進して参りました。その結果、まいふれポイント関連売上高は54,191千円(前年同期比117.5%増)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は588,427千円(前年同期比12.3%増)となりました。またセグメント利益は106,514千円(前年同期比17.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は866,683千円であり、前連結会計年度末に比べ119,755千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21,061千円、受取手形、売掛金及び契約資産が21,798千円、有形固定資産が25,853千円、投資その他の資産が10,863千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は595,168千円であり、前連結会計年度末に比べ91,434千円増加いたしました。これは主に長期借入金(1年以内返済予定のものを含む)が75,242千円、賞与引当金が25,882千円、預り金が10,274千円増加し、短期借入金が25,000千円、買掛金が19,939千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は271,515千円であり、前連結会計年度末に比べ28,321千円増加いたしました。これは主に資本金が4,536千円、資本剰余金が4,536千円、利益剰余金が18,046千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、「地域情報流通事業」「公共ソリューション事業」において売上高が当初予想を下回る見込みであり、また、当初売上計上予定だった公共受託収入が補助金収入として特別利益に計上となったことにより、営業利益及び経常利益に当初予想との差異が発生したため、通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年7月12日付適時開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	367,946	389,008
受取手形、売掛金及び契約資産	141,821	163,620
商品及び製品	581	1,845
仕掛品	370	1,605
原材料及び貯蔵品	668	687
その他	34,495	70,461
貸倒引当金	△586	△684
流動資産合計	545,297	626,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,175	99,209
建設仮勘定	44,633	—
その他(純額)	11,855	10,309
有形固定資産合計	83,665	109,519
無形固定資産	34,086	35,880
投資その他の資産		
投資その他の資産	101,886	110,742
貸倒引当金	△18,008	△16,000
投資その他の資産合計	83,877	94,741
固定資産合計	201,629	240,140
資産合計	746,927	866,683
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,449	34,510
短期借入金	75,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	27,040	42,463
未払金	86,416	95,033
未払法人税等	6,489	15,452
預り金	139,982	150,256
賞与引当金	25,910	51,792
その他	31,562	40,484
流動負債合計	446,850	479,993
固定負債		
長期借入金	44,998	104,817
資産除去債務	7,901	7,905
その他	3,983	2,451
固定負債合計	56,882	115,174
負債合計	503,733	595,168
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	272,409	276,945
資本剰余金	186,909	191,445
利益剰余金	△232,820	△214,774
株主資本合計	226,499	253,617
非支配株主持分	16,694	17,897
純資産合計	243,193	271,515
負債純資産合計	746,927	866,683

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,069,284	1,200,066
売上原価	387,515	444,859
売上総利益	681,768	755,207
販売費及び一般管理費	706,978	777,822
営業損失(△)	△25,210	△22,615
営業外収益		
受取利息	2	1
利子補給金	132	61
ポイント失効益	280	590
受取給付金	—	600
その他	383	555
営業外収益合計	798	1,810
営業外費用		
支払利息	1,446	1,747
支払保証料	438	432
その他	121	62
営業外費用合計	2,006	2,242
経常損失(△)	△26,418	△23,047
特別利益		
補助金収入	—	50,971
特別利益合計	—	50,971
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,418	27,923
法人税、住民税及び事業税	1,493	12,096
法人税等調整額	△7,310	△3,421
法人税等合計	△5,816	8,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,601	19,249
非支配株主に帰属する四半期純利益	318	1,203
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,920	18,046

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,601	19,249
四半期包括利益	△20,601	19,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,920	18,046
非支配株主に係る四半期包括利益	318	1,203

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1, 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域情報流通 事業	公共ソリューション事業	計		
売上高					
直営まいぶれ関連売上高	80,010	—	80,010	—	80,010
パートナー関連売上高	300,990	—	300,990	—	300,990
ふるさと納税関連売上高	—	404,070	404,070	—	404,070
公共案件売上高	—	94,908	94,908	—	94,908
まいぶれポイント関連売上高	—	24,921	24,921	—	24,921
マーケティング支援売上高	164,382	—	164,382	—	164,382
顧客との契約から生じる収益	545,383	523,900	1,069,284	—	1,069,284
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	545,383	523,900	1,069,284	—	1,069,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	545,383	523,900	1,069,284	—	1,069,284
セグメント利益又は損失(△)	158,613	90,838	249,452	△274,662	△25,210

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△274,662千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、主な内訳は全社共通人件費、システム運用経費、本社地代家賃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

## 1, 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域情報流通 事業	公共ソリューション事業	計		
売上高					
直営まいぶれ関連売上高	103,585	—	103,585	—	103,585
パートナー関連売上高	348,846	—	348,846	—	348,846
ふるさと納税関連売上高	—	433,228	433,228	—	433,228
公共案件売上高	—	101,007	101,007	—	101,007
まいぶれポイント関連売上高	—	54,191	54,191	—	54,191
マーケティング支援売上高	159,206	—	159,206	—	159,206
顧客との契約から生じる収益	611,638	588,427	1,200,066	—	1,200,066
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	611,638	588,427	1,200,066	—	1,200,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	611,638	588,427	1,200,066	—	1,200,066
セグメント利益又は損失(△)	168,775	106,514	275,290	△297,905	△22,615

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,905千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、主な内訳は全社共通人件費、システム運用経費、本社地代家賃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。